

平成 17 年 6 月 20 日

各 位

東京都港区元赤坂一丁目 5 番 8 号
株式会社 WOWOW
代表取締役社長 廣瀬 敏雄
(コード番号: 4839)
問合せ先 I R 広報局長 高見澤 尚樹
TEL03(5414)8090

ドラマW初のオリジナルストーリー 『ぶるうかなりや』 ギャラクシー賞テレビ部門 5 月度月間賞を受賞

5 月 22 日に WOWOW で放送いたしましたオリジナルドラマ・ドラマ W 『ぶるうかなりや』が、放送批評懇談会により 2005 年度 5 月度ギャラクシー賞テレビ部門月間賞に選出されました。

全作品をハイビジョンで制作・放送している「ドラマ W」。この作品は、ドラマ W 初の書下ろし作品で、芸術選奨文部科学大臣賞など数多くの賞を受賞した鶴橋康夫監督と、大河ドラマ「太平記」など多くの話題作を手がけた池端俊策を脚本に迎え、人にとって一番大事なものは何かを問う異色のホームドラマです。出演は、大事なものを失い挫折していくエリートサラリーマン役に柄本明、そして「ドラマ W」初登場の宮沢りえが女探偵役に挑戦。価値観が多様化する現代社会において、社会的地位の高い男性が、さまざまな“大事なもの”を得、失い、自分自身と家族本来の姿を取り戻す闘いを描いた作品です。

受賞理由は「社会的地位を失い家庭崩壊にも気付いた熟年男が、自分探しと家庭再生にのめりこんでいく狂態を、現代世相の中でコミカルにシニカルにダイナミックに描く。時代風刺と自虐的皮肉に人生への悲哀と祈りがこもって心奥を揺する。(放送批評懇談会より)」というものです。

『ぶるうかなりや』は、本年 5 月 22 日の初放送ではメガヒット映画級の反響をいただき、8 月 5 日夜 6 時からリピート放送を予定しております。

今後の「ドラマ W」作品の放送予定は以下の通りです。

- 『祖国』(8 月 14 日夜 8 時放送) / 原作・脚本: 山田洋次、監督: 堀川とんこう、出演: 上川隆也、マコ・イワマツ、木村佳乃。戦後 60 年特別企画。戦争によって引き裂かれた家族の哀しみと、長い年月を経ても変わらない深い絆を山田洋次がオリジナル脚本で描く、心温まる家族愛の物語。
- <ドラマ W アンコール> (全てリピート放送)
- 『理由』(7 月 2 日午後 1 時 50 分放送) / 原作: 宮部みゆき、監督: 大林宣彦
- 『4 TEEN』(8 月 1 日夜 6 時放送) / 原作: 石田衣良、監督: 廣木隆一
- 『宿命』(8 月 2 日夜 6 時放送) / 原作: 東野圭吾、監督: 若松節朗
- 『心の碎ける音 ~ 運命の女 ~』(8 月 3 日夜 6 時放送) / 原作: トム・H・クック、監督: 佐々部清
- 『巷説百物語 狐者異』(8 月 4 日夜 6 時放送) / 原作: 京極夏彦、監督: 堤幸彦
- 『ぶるうかなりや』(8 月 5 日夜 6 時放送) / 脚本: 池端俊策、監督: 鶴橋康夫

今後も WOWOW はオリジナル番組の制作に力を入れ、視聴者の皆さまにバラエティーに富んだエンターテインメントをお届けしてまいります。

以上